

Investor's  
Report2017年  
3月期  
第2四半期

2016年4月1日～2016年9月30日

## 第2四半期 連結業績ダイジェスト

ココが  
POINT!

- 1 前年同期に比べ為替が円高で推移したことで減収減益に
- 2 航空機セグメントで「US-2型救難飛行艇」の製造作業が進捗
- 3 特装車の高い需要水準が継続
- 4 環境関連事業は、廃棄物処理施設の新設工事が減少

売上高

92,415 百万円

対前年同期比 2.6% 減 ↓

■ 通期 ■ 第2四半期累計  
(単位：百万円)

営業利益

4,903 百万円

対前年同期比 48.0% 減 ↓

■ 通期 ■ 第2四半期累計  
(単位：百万円)

経常利益

4,675 百万円

対前年同期比 50.4% 減 ↓

■ 通期 ■ 第2四半期累計  
(単位：百万円)親会社株主に帰属する  
四半期(当期)純利益

2,941 百万円

対前年同期比 52.1% 減 ↓

■ 通期 ■ 第2四半期累計  
(単位：百万円)

## 通期業績予想

項目	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
4/28予想	197,000百万円	10,500百万円	10,900百万円	7,500百万円	
10/31予想	200,000百万円	11,000百万円	11,100百万円	7,600百万円	79円61銭
4/28予想比	1.5%増 ↑	4.8%増 ↑	1.8%増 ↑	1.3%増 ↑	

## トップメッセージ

平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

2017年3月期第2四半期までの業績は、海外民間航空機向けコンポーネント事業において、為替が円高で推移した影響を受けたことなどから、売上、利益ともに前年同期を下回る結果となりました。

現在推進中の「New Challenge 100」につきましては、3カ年の活動期間の折り返しを迎えたところでございますが、これまでの活動を踏まえ、強化すべきところに重点を置き、新事業・新技術・新製品を創出することで、目標達成に努めてまいります。

取締役社長 **大西良弘**

## 第2四半期セグメント別業績



### 航空機

- US-2型救難飛行艇の製造が進捗
- 為替の円高での推移が売上高、営業利益を下押し

通期の見通し

- ◎防衛省向けの売上は、前期水準を維持
- ◎想定為替レートを「107円/ドル」から「100円/ドル」に変更

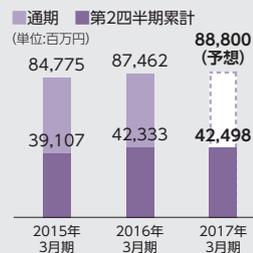


### 特装車

- 特装車は堅調な需要水準が継続
- トレーラーや林業機械の売上も前年同期並みの水準を維持

通期の見通し

- ◎底堅い受注環境が継続

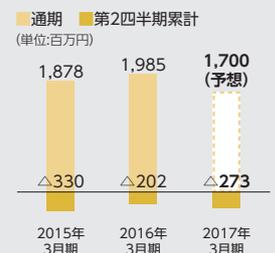


### 産機・環境システム

- 流体事業は、システム製品の販売が堅調に推移
- 環境関連事業は廃棄物処理施設の新設工事が減少

通期の見通し

- ◎環境関連事業は前期の売上水準を下回る
- ◎流体、メカトロ事業は堅調に推移



### パーキングシステム

- 機械式駐車設備の都市部での堅調な需要が継続
- 航空旅客搭乗橋の受注が増加

通期の見通し

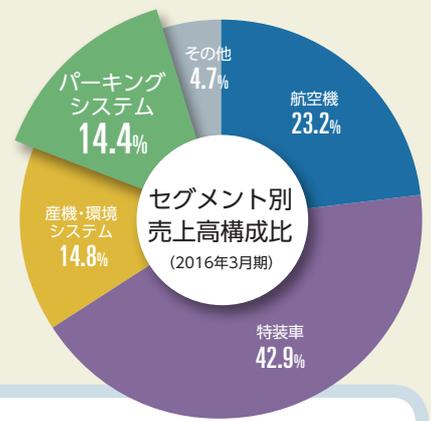
- ◎機械式駐車設備の新設案件は増加



# 事業のチカラ

## パーキングシステム事業

限られたスペースに多くの車両を駐車できる機械式駐車設備。地価が高騰した1980年代以降、都市部を中心に急速に普及が進みました。当社グループは、1964年に初号機を納入以来、半世紀以上にわたり、設備の開発、据付のみならず、日常のメンテナンスや老朽化設備のリニューアルといったサービスを提供しています。このほか、当事業部門では、航空機とターミナルビルを結ぶ航空旅客搭乗橋もラインアップしています。



### 事業概要

#### 駐車設備の開発

タワー型の「エレパーク®」を中心に、世の中のニーズに合う設備を開発、市場に投入しています。たとえば、2011年に開発した「エレパークF」は、東日本大震災など過去の大型地震の揺れによる衝撃をパレットに加える耐久性の実証試験を行い、改善することで地震に対する耐性を更に高めました。



#### 製品ラインアップ



2012年に東京エンジニアリングシステムズ(株)がグループに加わり、同社の主力製品である多段方式がラインアップに加わりました。これにより、幅広いニーズに、より最適な提案ができるようになりました。

#### メンテナンス・リニューアル

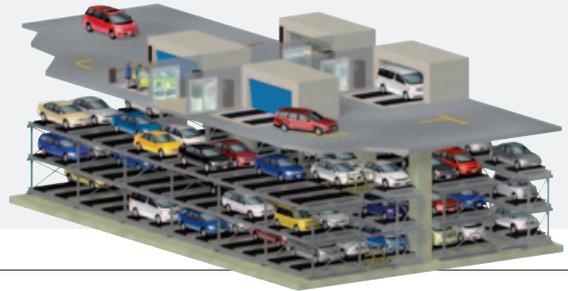
設備を長く使っていただくためには定期的なメンテナンスが必要です。当社では、全国にメンテナンス網を構築して、メーカー独自の保守・修理などのアフターサービスを提供しています。また、24時間365日対応の「お客様センタ」は、設備の不具合だけでなく、「設備内にカギを落とした」といった要請にも迅速に対応しています。このほか、設備の老朽化や車両の大型化に対応するため、駐車空間を広げる設備のリニューアルも行っています。



#### TOPICS

#### 地下空間を有効活用する 平面往復式駐車設備 「T-Sips®(ティ・シップス)」

ビルや商業施設などの地下空間を活用できる「T-Sips®」は、駐車スペースの中央を往復する高速走行台車が自動車を搬送し、走行路の左右に配列した駐車棚に格納します。これは、地下空間を効率的に活用でき、多くの駐車台数が必要な施設のニーズに応えるため製品化したものです。コンピューター制御により自動車の連続入庫時間を短縮できるほか、運転者が自動車を入庫スペースに斜めに停車した場合でも、適正な停車状態に自動補正するシステムを備えるなど、利用者の利便性を高めています。



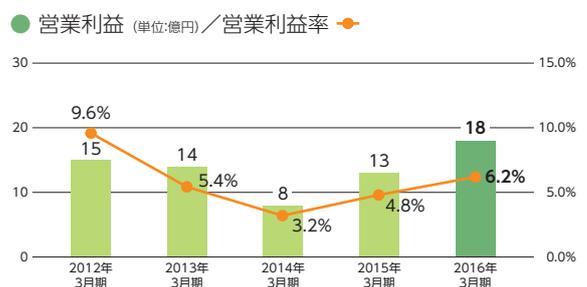
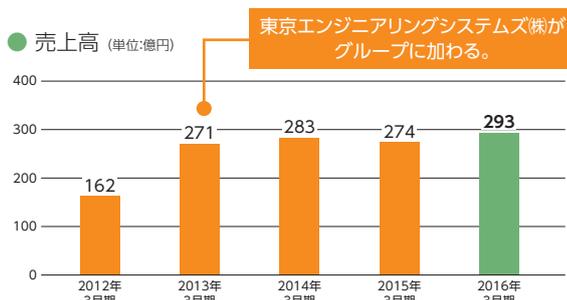
#### 航空旅客搭乗橋

航空旅客搭乗橋「パックスウェイ®」は、成田、中部、大阪(伊丹)、関西といった国内の主要空港に加え、東南アジア地域のハブであるチャンギ空港など、国内外の空港に数多く納入しています。



### 過去5年間のパーキングシステムセグメントの売上高・営業利益の推移

— M&Aにより事業規模拡大、収益を安定計上 —



## 2トン、3トン車級の圧縮式塵芥車の新モデルを発売

圧縮式塵芥車「G-PX」の2トン、3トン車級の新モデルを開発、11月1日に発売しました。  
新モデルは、油圧及び積込制御の最適化により、積載できる廃棄物の量を当社従来型比最大20%向上\*させ、積込能力を高めました。

また、新規開発した専用の大型リヤコンビネーションランプを採用し、車両後方からの視認性を高め、より安全性を向上させるとともに、使いやすさやメンテナンスの容易さにも配慮した機能を装備しました。

\*当社におけるダンボール積込評価試験に基づく従来型標準仕様との比較結果。積込量は積載物の種類、積込方法等により異なります。



## 会社概要 (2016年9月30日現在)

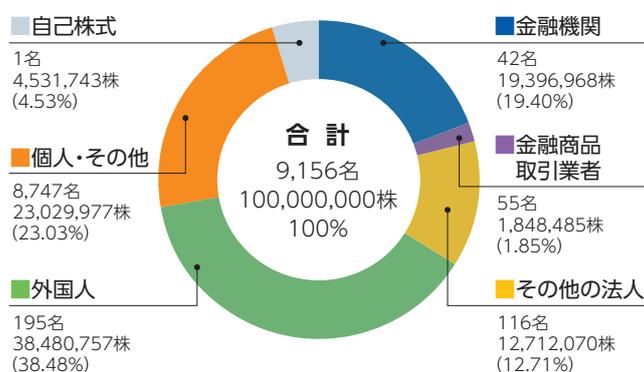
商号	新明和工業株式会社
設立年月日	1949年11月5日
資本金	15,981,967,991円
従業員数	2,980名
連結従業員数	4,759名

## 株式情報 (2016年9月30日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	100,000,000株
単元株式数	1,000株
株主数	9,156名

## 株主構成



( )内の数値は株式数の比率。四捨五入した数値を表示しております。

## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
三信株式会社	9,293,065	9.73
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,513,000	4.73
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,712,000	3.89
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	3,702,000	3.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,095,000	3.24
RBC ISB S/A DUB NON RESIDENT / TREATY RATE UCITS-CLIENTS ACCOUNT	2,700,000	2.83
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	2,421,000	2.54
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	2,052,000	2.15
新明和グループ従業員持株会	2,047,303	2.14
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	1,466,000	1.54

(注) 持株比率は、自己株式数(4,531,743株)を控除して計算するとともに、小数点第3位以下を四捨五入して表示しています。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金 受領株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.shinmaywa.co.jp/">http://www.shinmaywa.co.jp/</a> (ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

## 各種手続きについて

## 証券会社等に口座をお持ちの方

口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。なお、以下の手続き等につきましては、下欄の株主名簿管理人にお問い合わせください。

- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

## 特別口座に口座をお持ちの方

下欄の株主名簿管理人/特別口座管理機関にお問い合わせください。

## 株主名簿管理人/特別口座管理機関

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
**TEL 0120-094-777**  
(通話料無料)

## IR情報 メール配信のご案内

当社グループの情報開示や企業ニュース等をメールでタイムリーにお知らせしています。ぜひ、以下のサイトから登録ください。(IR情報発信サービス「ディア・ネットサービス」を利用してメールを配信しています。)

<https://www.dirnet.jp/7224>